

# 植物 ①

## 植物

### アカウキクサ



日当たりの良い水田などの水面に浮いて生育するシダの仲間、文島町かきやろ崎岡町とあまごちやろ浅子町の2ヶ所にしかありません。しよきやうてい除草剤やしようせいびほ場整備・埋立てなどにより減少しました。

## 植物

### アケボノシュスラン



少し湿り気のある、落ち葉の多いシイやカシなどの照葉樹林内に生えます。きばらぢやろ木原町とあかぎぢやろ赤木町の2ヶ所にしかない、とても少ない植物です。

## 植物

### ウミヒルモ



内湾の砂または砂泥地さでいぢで、潮が引くと出てくるような所に生えています。海岸の護岸工事や埋立てなどにより、生育地が減少しています。

## 植物

### キエビネ



林内に生える多年草。色と香りが良いことから園芸用えんぎように採取され、今ではほとんど見る事が出来なくなりました。

## 植物

### ツクシアザミ



かくいだけ隠居岳とあまごさん愛宕山のふもとにしか生えていません。生育に適する場所が色々な開発で無くなったことが減少の原因です。

## 植物

### ハマボウフウ



海辺の砂浜に生える多年草。砂浜に降りやすいように造られたコンクリートの階段などが原因で減少し、県内でも数ヶ所にしかありません。

## 植物 ②

### 植物

### ヒナラン



日当たりのよい岩場などに生える多年草。このような環境が少ない上に、花がきれいなため採取され、わずかしが残っていません。

### 植物

### フナバラソウ



山の草原に生える多年草。草刈りがされなくなり、草原がやぶとなって生育できなくなったり、道路工事などで減少しています。

### 植物

### ミヤマガマズミ



日当たりのよい林のふちなどに生える低木。木原町の2ヶ所に数本しかない、とても少ない木です。大切にしたい樹木の一つです。

## 昆虫類

### 昆虫 キリシマミドリシジミ



幼虫はウラジロガシやアカガシの葉を食べます。山地のアカガシ林が切られたために減少が続き、絶滅したと思われるっていました。

### 昆虫 グンバイトンボ



幼虫はきれいな水が流れる、水生植物の多い小川などに生息します。県内では木原町きはらまちだけに生息します。ボランティアで生息地の保護が行われています。

### 昆虫 コムラサキ



幼虫はヤナギ類の葉を食べます。ヤナギ類は川のそばに多いのですが、川の工事でヤナギ類が切られることが減少の原因となっています。

### 昆虫 ツマキチョウ



山地から平地の林のふちや谷川ぞいに多く、早春にだけ見られます。減少の原因はよくわかりませんが、環境の変化かんきょうに敏感なんでしょう。

### 昆虫 ベッコウトンボ



日本でも絶滅寸前です。高島町たかしまちょうは県内に3ヶ所しかない生息地の一つです。生息地はいずれも、水深が50cm位でヒメガマなどの水生植物の多い海岸近くのため池です。

# 魚類

## 魚類

### アブラボテ



小森川の流れがゆるやかな場所に生息します。川の工事等でアブラボテが産卵をするドブガイが少なくなり、減少しています。

## 魚類

### イトモロコ



小森川の砂底や泥底どろそこの、流れがゆるやかな場所に生息します。川の工事でこのような環境かんきょうが少なくなったことで減少しています。

## 魚類

### トビハゼ



干潟ひがたや河口の泥地どろちなどに生息します。川の工事ごうじで泥を取ったり、埋立てなどで生息場所が少なくなったため減少しています。

## 魚類

### ドジョウ



池、ゆるやかな流れの川、水田の水路などに生息します。川の工事やほ場整備ほばせいびなどで生息場所が少なくなり、農薬のうやくの影響えいぎょうにより減少しています。

## 魚類

### ニッポンバラタナゴ



日本でも絶滅寸前ぜつめつすんぜんで、ため池や用水路に生息します。用水路がコンクリートになり、卵を生むために必要なドブガイがいなくなったことやタイリクバラタナゴとの雑種ができることで減少しています。

## 魚類

### ヤマトシマドジョウ



小森川の流れがゆるやかな砂底などに生息します。川の工事でこのような環境かんきょうが少なくなったことにより減少しています。

# 鳥類 ①

## 鳥類

### アカショウビン



豊かな自然林に渡ってきて、魚、昆虫、カエルなどを食べます。自然林が伐採されるなどして、繁殖する場所が減少しています。

## 鳥類

### オオルリ



谷川のそばの林に渡ってきます。生息場所の林が切られたり、植林地に変わったりして、巣が作りにくいことやえさが十分でなくなったために減少しています。

## 鳥類

### カワガラス



水の底を歩くなどして主に水生昆虫を食べます。えさが多く巣を作ることに適した、自然豊かな川が少なくなり絶滅寸前です。

## 鳥類

### クロサギ



数の少ないサギで、黒島の近くの伊島には貴重な繁殖地があります。翼をひろげ水面に影をつくって魚を捕らえる姿が見られます。

## 鳥類

### タカブシギ



渡りの途中に、えさを捕ったり休息のために水田やハス田などに来ます。しかし、ハス田が少なくなったり、水田のほ場整備で乾燥した水田が多くなっています。

## 鳥類

### タマシギ



ほかの鳥と違いオスが卵を暖めます。生息地や繁殖地の水田、ハス田、湿地などが少なくなったり、周囲の都市化で減少しています。

## 鳥類 ②

### 鳥類

### ハヤブサ



主に海岸のがけで繁殖し、冬は海岸や広い水田などで見られます。黒島と船越町の2ヶ所ふねこしちょうでしか巣が見つかっていない、とても少ない鳥です。

### 鳥類

### ヒクイナ



夏鳥または留鳥。繁殖期には拍子木をたたくような声しつぷで鳴きます。生息場所や産卵地のハス田や湿地などが減少し個体数が減っています。

### 鳥類

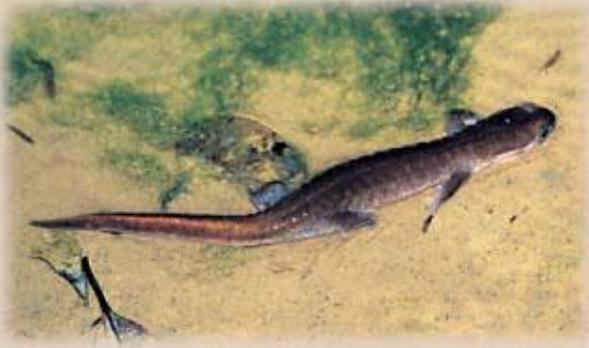
### ヤマセミ



水に飛び込んで魚を捕らえますが、川の工事で深いところが少なくなり、えさをとる場所が減ったり、巣を作る川やため池のそばの土のがけがコンクリートになるなどして減少し、絶滅寸前です。

## 両性類

### 両生類 カスミサンショウウオ



成体は、陸上の比較的湿度しつどの高い、落ち葉の積もった林で生活しています。このような場所が少なくなり数が減っています。

### 両生類 トノサマガエル



1年を通し水辺の近くに生息します。以前は普通に見られていましたが、今では山間部の水田などでは見られません。

### 両生類 ニホンヒキガエル



主に陸上の、比較的湿度しつどの高い場所で生活しています。住宅地じゅうたくちの広がりとともに生息地が減少し、山間部でしか見られなくなりました。

### 両生類 ヤマアカガエル



木原町きはらまち、心野町ここのちのまち、里美町さとみまちなどの東部の山地にしか生息していません。しかしここでも水田が休耕田になるなどし、繁殖はんしよくに影響えいさうが出ています。

# 爬虫類

## は虫類

### クサガメ



平地の池や沼、ゆるやかな流れの川に生息します。川底を深くする工事などにより、産卵に適した場所が減少しています。

## は虫類

### シロマダラ



夜行性のへびでめったに見られません。住宅地の広がりにより豊かな自然が少なくなったことで、えさのは虫類が減少し、山間部でしか見られなくなりました。

## は虫類

### スッポン



底が砂泥質の平地の池や沼、ゆるやかな流れの川に生息します。川の工事で生息場所や産卵場所が少なくなり減少しています。

# 哺乳類

## ほ乳類

### キクガシラコウモリ

森林に生息するコウモリで、冬眠、休息、出産は洞窟を利用します。えさの昆虫が多い自然林が少なくなつたために、数が減少しています。



## ほ乳類

### ニホンアナグマ



キツネやタヌキと違い、森林を主な生活の場としています。えさの多い自然林が少なくなったことで、減少しています。

## ほ乳類

### ホンドカヤネズミ



ススキやチガヤなどの生えた草原に生息します。草原の草刈りが行われなくなり、やぶとなったために生息地が減少しています。

## 節足動物 / 軟体動物

### 節足動物

### ハクセンシオマネキ



主に河口付近の<sup>さでいぢ</sup>砂泥地に生息します。川底を深くしたり、海や川の<sup>ごがけん</sup>護岸工事で生息場所が少なくなり、減少しています。

### 軟体動物

### タケノコカワニナ



海水と淡水が混じる河口などの<sup>どろそこ</sup>泥底に生息します。生息場所が埋立てなどにより減少し、今では<sup>たながたちょう</sup>棚方町だけにしか生息しません。